

西山健治さんを偲ぶ会

西山健治さんが2021年2月8日ご逝去されました。西山さんは、当法人の団体会員である横浜共生会「地域生活支援センター海」の副センター長として障がいのある方が地域で暮らす当たり前の生活を実現すべく尽力されていました。

当法人の講師としても常に最善をつくし支えてくださった優しいお人柄を忘れられません。今回西山さんと交流のあった方々にご参加いただき思い出を語りながら故人を偲ぶ会を持ちました。

6月26日(土) 14:00~16:00 東京 YWCA 会館 217 室に集まったのは、横浜共生会の同僚伊藤さん、田島理事長、土岐、蛸原、近藤、石井。オンライン参加は、新田、岡部、大庭でした。

それぞれが西山さんとの思い出を語り、どのような状況でもとことん話を聞き一緒に考えてくれる姿勢。真摯に向き合い、綿密な計画と実行のために全力で取り組んでおられた姿勢など、改めて西山さんの生き方に共感する時間となりました。どこまでも優しいお人柄は「人が好きで仕事を愛し、障がい者福祉に人生をささげてきた人の深い生き方」であったと思われま

す。だからこそ残された者の心の傷は深く大きいことを痛感しました。また、会員総会での発言では、当法人を見守り様々な提案をしていただいたことをしっかりかみしめ、繋いでいきたい。残された者たちが、西山さんがやりたかったことをどのように引き継ぎ進めていくか、問われていることを再確認できました。心よりご冥福をお祈りいたします。

後日、伊藤さんから以下のようなメールをいただきました。

先日は温まる開催、ありがとうございました。

皆さんの優しき思いに触れ、故人と共に僕も包み込まれた実感を抱いた次第です。遺族は勿論ですが、僕たちも突然の訃報で、未だにピンと来ていないのが実態です。

悪態をつき、罵りながら、出勤を待っている、頭では理解していても、何か受け入れ難いのが本質なのでしょうね。所内でセレモニーを開催していない背景は、この辺りが大きな部分であり、まだ時間をかけたいのが本音です。そんな中、YWCA での会合は、僕の「一つのきっかけ」となりました。

ああ、こんなに皆さんに大事にされていたんだな。やり遂げない部分はありにしろ、幸せな人生だったな、なんて思えました。ちょっとだけ、奴に優しくなれそうです(笑)

参加された皆さん、準備頂いた皆さん、本当に感謝します。どうもありがとうございました。

故人に替わり、御礼申し上げます。 横浜共生会 伊藤



会費・寄付金等振込先

年会費：正会員 3,000 円/年 賛助会員 一口 10,000 円/年 団体会員 20,000 円/年

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501

◆三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

口座名義 特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター

ご寄付のお礼 皆様のご支援により支えられています。

2020年8月~2021年7月にご寄付いただいた皆様(敬称略・順不同)

岡澤和枝・笹尾正乃・尾崎裕美子・鍋田都・林伸子・加藤さく子・新田和子・大庭みづほ・生野のぞみ
増井起代子・蛸原まゆみ・日向野明子・小川律子・岡部卓・中村道子・徳森敬子・原田千恵

感謝をもってご報告申し上げます。

発行所 特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター

発行人：石井須美子 編集人：長尾恵理子 大庭 幸

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号東京 YWCA 会館 216 室

TEL・FAX 03-6273-7134

HP <http://ywca-hssc.org/> 東京 YWCA ヒューマン で検索

2021年8月2日~6日 夏季休暇をいただきます。

編集後記：

今年度法人のパンフ

レットを刷新しました。

表紙の写真のハチドリのように、小さくても元気に飛びたいですね。できれば美しく。(Y.O)



特定非営利活動法人

東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター

会報

見守り

支え

伝え合う

私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します

22号
2021年7月

年次総会を終えて

特定非営利活動法人
東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 理事長 田島 誠一

会員、支援者の皆さま、
東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンターの事業・運営を支えていただきありがとうございます。
去る6月19日、2020年度を振り返り、2021年度の計画を決定する会員総会をオンラインで開催しました。
正会員の過半数を超える40名の参加(うち表決委任者27)でした。

議長に土岐祥子さんを選出。全議案を審議し満場一致で承認されました。詳細は事業報告を参照ください。
2020年度は、新型コロナの影響で講師派遣事業が、対面での研修が困難になるなど厳しい状況に置かれた
が、愛恵福祉財団からの助成を受けて、オンライン研修体制を整えることができました。新規の委託事業や3年目
となる東京都保育士等キャリアアップ研修も計画通り終了できました。

法人理念に「対人援助の仕事にかかわる人たちの成長を支援し、福祉・介護の仕事のゆたかさを広め、利用者への
より質の高い支援の実践が広がることを目指します。」とあるように研修事業は法人の柱となる事業です。保育士等
キャリアアップ研修が期限のある委託事業であることを考えると、講師派遣事業を中心とした「人を育てる」事業の
再構築が大きな課題です。オンライン研修の活用、新型コロナ収束後の法人連携研修など、福祉施設等への働きかけ
を強化していきます。

「福祉のしゃべり場」など研修事業以外でも、働く人を励まし・生かす取り組みを継続します。法人職員の働き方
改革も基本理念に基づいた大切な取り組みです。

2020年度は収益計約2,300万円に対して費用計は約2,100万円となりました。新型コロナ持続化給付金などの
臨時的収入があり、黒字となりました。2021年度は、助成金を考慮に入れず、自立した運営を目指します。

2020年度 事業報告 (2020年4月1日から2021年3月31日)

I. 事業に関する事項

法人の掲げる理念・使命の実現に向けて高齢者、障害者、子ども福祉を含めた事業を実施した。

1. 講師派遣研修

2020年度の実績は、単発研修2件、3回以上の継続研修3件。新規契約として特別区人事厚生事務組合(子供支援事業)、社協(コンサルティング)があった。新型コロナウイルス感染症の影響により、4月休業、5月からスタートとなった。高齢者施設の研修の中止が相次ぎ厳しい状況であったが、新規の契約により昨年度落ち込んだ事業収入は前年比で約16%の増収となった。コロナ渦、オンライン研修実施に向けて、愛恵福祉支援財団から助成を受け準備を進め、継続研修のほとんどをオンライン研修で行うことができた。

オンライン研修を進める中で見えてきた、集合研修の効果を再確認することができた。また、オンライン研修の効果と課題についても明らかになってきた。コロナ渦、それぞれの法人研修担当者との連携をこれまで以上に進めていくことで、安心安全に研修を進め、期待に応えることができたことと評価している。

2. 講座 講習

「東京都保育士等キャリアアップ研修」を計画の通り13回実施。修了者数220名。

三密回避のため研修会場、研修人数の検討。接触感染・飛沫感染を防ぐ対策を講じ、12月に終了するよう開催時期を調整した。

全課程集合研修を行い、参加者のアンケートでは、安心して研修を受けられた。すぐに活用できる。学びが深まったなど評価された。

3. 福祉啓発事業 「福祉のしゃべり場」 3回開催 オンライン (zoomでの開催)

1回目9月5日(土) 参加者10名 2回目12月5日(土) 10名 3回目2021年3月6日(土) 14名

4. 会員活動

新型コロナウイルス感染予防の観点から親睦会を中止。

5. 広報

1) 会報: 20号300部 21号200部発行。 2) HPの活用: HP管理者の変更 HPの刷新。情報公開が進んだ。

II. 運営に関する事項

1. 会員総会 2020年 7月4日(土) 13:30~15:00 東京YWCA会館217室

2. 理事会 年4回実施

3. 会員 2021年3月31日現在 正会員 個人:76名 団体:2 賛助会員:8名

4. 事務局体制 理事長:田島 誠一 事務局長:非常勤 事務:専任1名 非常勤1名

4月休業。2度目の緊急事態宣言後、常勤職の休業。持続化給付金、雇用調整助成金を申請、交付された。

2021年度 事業計画 (2021年4月1日から2022年3月31日)

I. 事業に関する事項

法人の掲げる理念・使命の実現に向けて高齢者、障害者福祉に加えて、子ども福祉分野を含めた事業は、今年11年目となる。

昨年までの経験をさらに発展させ、事業の可能性を広げるよう理事会を中心として進めていく。

1. 講師派遣事業

11年目を迎えるにあたり、これまで進めてきた講師派遣研修の強みを生かすとともに、オンライン研修を効果的に進めるためのスキルを磨いていく。「一方的な講義に終わらないコミュニケーション」を念頭に柔軟な発想で検討を重ね、可能性を広げていきたい。

集合型研修が可能となった場合には、講師の抗原検査を事前に実施し、感染の可能性のない状況で研修に臨む。オンラインも活用し、欠席者へのビデオ配信、講師、事業所スタッフなど必要に応じて研修内容を共有し共通理解を進めることで、研修効果を高める。

2. 講座 講習

東京都保育士等キャリアアップ研修は、4年目となる。東京都がウェブ研修を進めている中ではあるが、研修の効果、安全性など総合的な判断により、全過程集合研修とすることとし、昨年の感染予防対策に加え今年は参加者全員への抗原検査の実施を行い安心安全な講習会を目指していく。

3. 福祉啓発事業 「福祉のしゃべり場」 年3回 オンラインと集合の可能性を検討。

4. 会員活動 6月26日「西山健治さんをしのぶ会」14:00~16:00 オンラインと集合(ハイブリット開催)

5. 広報 1) 会報の発行 年2回 各200部 2) HPの活用

II. 運営に関する事項

1. 会員総会: 年1回 2. 理事会: 年3回 3. 会員: 会員の数値目標 正会員 個人80名

4. 事務局体制: 理事長 田島誠一 事務局長:非常勤 事務:専任1名・非常勤1名

報告 第8回 福祉のしゃべり場 ~特別企画~

2021年3月6日(土) 13:45~15:45 オンライン開催 参加者14名

ALS 進行性神経難病 在宅生活を訪問介護でのサポート支援を終えてみて
殺人事件から思うこと 会員 鍋田都さん事例のまとめと発表

会員鍋田さんが、進行性の難病をもつ利用者さんの支援終了を振り返り、支援をレポートにまとめて分かち合って下さいました。また、医師による殺人事件から、支援者として感じたショックや思いも聞き、感想や意見交換をしました。事例提供にこころから感謝!

疾患の特徴故とも言える、意志の強さ(してほしいことをはっきり持っている、身体のポジショニングが重要、妥協しない姿勢を貫かれる)を発揮されることが多い相手との、正直で熱心な関係づくり。その中で忍耐と喜びを感じ、「人権尊重」が土台に流れるケアだとの感想が多く、とても学び多き発表だと話し合いました。襟を正されたと感じた方もおられました。参加者より、「自分の心に触れたことを大切にしたい」、「同じ苦勞に共感し勉強になった」との感想もありました。

利用者さんに介護の在り方を説明したときに、「理屈じゃない!」と叱られたそうですが、そこから関係ができ、褒めて頂けて嬉しかったことなど、具体的な取り組みやその時の思いを聞くことができました。このような話を聞くだけで刺激を受けるとの感想もありました。その刺激が参加者の明日の力に、取り組みの参考になったことと思います。発表のために多くの時間を使って支援をまとめた事、懐かしいY同窓生とも話をした事で利用者さんとお別れができた気がするとの発表者の話には、担当者としてホッと嬉しくなりました。

板橋センターからの途中参加、卒業生以外のALS支援者の参加もあり、内容を分ち合えたことは嬉しいことでした。

報告 第9回 福祉のしゃべり場

2021年5月15日(土) 13:30~15:30 オンライン開催 参加者10名

しゃべりながらヒントが欲しい! 会員 桑原 美佳さん
レスパイトケア障害児訪問介護の仕事を通して

現在、子育てとともに非常勤でレスパイトケアに携わっている会員桑原さんが、若き日の重症心身障害児施設勤務の経験や、これまでの職歴をまとめてくれました。現在の障害児ヘルパーの仕事への思いや展望、看護師が多い中での職種連携や自分の役割・ヘルパーの役割、ヘルパーの育成方法、対象者の発達を大人への成長にどうつなげてゆけるのか、親兄弟の人生と本人の人生についてなどなど、日ごろの仕事での気づきごとをパワーポイントでお話下さり、しゃべりながらヒントが欲しいという企画でした。

鹿児島からの卒業生の参加もあり、ZOOM参加は苦手と話していた会員も、この空間を共有できることの喜びを感じられたとの感想もありました。コロナ禍にあってはまだ集まるのが厳しい状況にあり、環境が整わずに参加ができない方もおられますが、再会を目標にしつつオンライン開催を活用し、参加者とともにしゃべり場を創っていきたいと思います。

担当 河瀬 野崎 蛭原

♥ ご参加お待ちしております ♥

次回開催 9月25日(土) 13:30~ ZOOM開催

「あなたが主役の福祉のしゃべり場」 ~皆でお悩み解決時間~
ストレス発散! 良いエネルギーを取り入れよう!
※詳細はホームページをご覧ください